

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室 1・2」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
そだちの丘 育ちサポート係 TEL 30-4410 FAX 30-4433 E-mail: sodachi.sec@matsusaka.ed.jp

年の初めに考える・・・

2018 年がスタートしました。

みなさまも新年を迎えられ、新たな気持ちで仕事に取り組んでおられると思います。今年は「戌年」、犬は忠実で、勤勉で、努力家だそうです。私も、忠誠心をもって、努力を惜しまず、業務に励みたいと思います。また、犬はお産しやすいことから「成果がたくさん産まれますように」との願いを込めて・・・



さて、私と同世代の先生方はご存知だと思いますが、98シリーズというパソコンが市内の学校に導入されてから20年ほど経過し、インターネット網の確立とともに、今ではパソコンやスマートフォンなしでは不便さを感じる時代がやってまいりました。年を経るごとに、ITが著しく発展し、情報過多とも思える時代が到来しました。

昨年10月号のTIME誌で、サンディエゴ州立大学心理学博士のジェーン・トウェンジ氏は、スマートフォンや電子機器の使用と自殺行為との関連について数ページにわたり述べています。その中の一節に、” Kids who spent three hours a day or more on smartphones or other electronic devices were 34% more likely to suffer at least one suicide-related behavior - including feeling hopeless or seriously considering suicide - than kids who used devices two hours a day or less.” とあります。つまり、「1日に3時間以上スマートフォンや電子機器を使用している子どもたちは、1日に2時間より使用時間が少ない子どもに比べて、少なくとも1つの自殺に関連する行為で悩み、中には、希望をなくしている子ども、或いは真剣に自殺しようと思っている子どもを含め、34%も多い。」と研究の結果を示しています。



昨年は、インターネットを介しての出会いから、悲しいニュースがメディアを通してたくさん見聞きされました。インターネットや電子機器の発展により、我々の生活が大きく変わろうとしています。情報伝達や物流が速くなり、大変便利になりましたが、反面、命や人権にかかわる痛ましい事件が絶えません。最先端技術が我々の生活を豊かにし、今年は、明るいニュースがたくさん見聞きされ、収穫の多い年となることを願い、年頭の挨拶とさせていただきます。

(小筆 邦昭)

研修講座報告その6～研修講座の様子をご紹介します～

B-3 教育課程「次期学習指導要領に向けたこれからの授業づくりと教育課程」

講師 益川 弘如 先生



次期学習指導要領に向けた評価の在り方や知識構成型シグソー法など、これからの新しい学びの在り方について教えていただきました。

各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら学習に向かうことができる授業づくりについて考えることができました。

B-21 乳幼児教育Ⅲ「音を感じよう、表現しよう

ー領域『表現』における保育実践を考えるー」

講師 福西 朋子 先生

グループワークでは、音を聴いて感じたことや絵本の場面をもとに実際に表現することを通して学ぶことができました。

音の出るものや身振り手振り、新聞紙やスカーフで豊かに表現する受講者の姿が見られました。



教育関係書籍貸し出し中！

当センターでは、市内の教職員を対象に、教育関係書籍の貸し出しをしています。お近くにお越しの際に、当センター事務所にお立ち寄りいただき、「蔵書」コーナーの本をぜひご活用ください。

今年度購入した書籍の一部を紹介します。

書名	著者
一人ひとりの凸凹に寄り添う「気になる子」「苦しんでいる子」の育て方	金 大竜
【「境界例」概念の史的変遷からの考察・その①】ー果たして、今日的「ボーダーライン」に「境界」の表現は適切なのか？ー	志村 浩二
「みんなの学校」流自ら学ぶ子の育て方	木村 泰子
教室の「困っている子ども」を支える7つの手がかり	宮口 幸治 松浦 直己
問題解決的な学習で創る道徳授業 超入門	柳沼 良太

☆新着書籍、過去の書籍等は、ホームページに掲載しています。

☆インターネットでの検索方法

「松阪市子ども支援研究センター」と入力

「子ども支援研究センター | 松阪市」を選択、「蔵書案内」を選択

☆書籍の貸し出し状況等については、(TEL) 26-1900までお問い合わせください。